

# 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2026年3月5日

事業所名：児童発達支援 つばめ療育館 親子館

対象人数（保護者）25人 回答者数 18人 回収 72%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	15	3			親子館では、元々個別療育の設定では無かった 為に使い勝手が悪く効率が良いとは思えない。	小集団から個別療育に変更したため、間仕切り と入口に不備がありました。取り急ぎ支援室の 修繕を行う予定です。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16		1	1	先生方に余裕が無いように感じる時もある。	体調不良等で職員が複数名休暇となった時に不 便をお掛けしたことは、お詫び申し上げます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	1		子供目線で見ても非常にわかりにくく使い勝手 が悪い。	個別の親子療育に変更した際に、間仕切りと入 口に不備がありました。取り急ぎ支援室のバリ アフリー化の構造で、修繕を行う予定です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	17		1		空調温度がいつも様々で安定していない。	季節に応じて、心地よい空中温度を保つように 心がけます。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	14	3		1	先生方は、丁寧に一生懸命に下さっている とは思いますが、限られた時間の中では、一人 ひとりの方に合わせた療育は難しいと思いま す。	つばめ療育館の児童発達支援は、全館60分 に変更させていただきました。ご利用児が集中で きる持続時間、同伴保護者の利便性に加え、何 より改善効果が最もであると判断いたしました。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1		2		日々、振り返りをして個々の改善を評価してい ます。プログラムを変更する場合は、HGUマイ ページなどでお伝えするようにいたします。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニ ーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支 援計画（個別支援計画）が作成されていると思いま すか。	16	2				契約時やモニタリング時等でニーズや課題をお 聞きし、児童発達支援計画に反映させるように 努めています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支 援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容 からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	17			1	通所している事業所には居ない先生の名前が責 任者欄に記載されている事に不信を抱く。	児童発達支援計画の作成を担う児童発達支援管 理責任者の異動があり、担当職員の氏名を変更 しないまま説明を行ってしまったことに対しお 詫び申し上げます。 同計画書は配置職員に修正し、次回より説明さ せていただきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	16	1		1	課題がマンネリ化していたり、もう少し子供の 興味をひくような課題を提供してほしいです。	課題はご利用児個々の状況に応じて提供してい ますが、真摯に受け止めマンネリ化しないよう に努めて参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	13	2	1	2		ご利用児の年齢や能力に応じた個別支援に心が けて、できるだけ固定化しないように、興味 のある活動を盛り込みながら柔軟に対応してい ます。
11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、そ の他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	2	4		サービス担当者会議等で保育所や幼稚園に向っ て状況共有をさせていただいています。 個人差はありますが、障害のない子どもとの交 流については、現ご利用児の現況等で判断する と、必要性を感じていません。社会性の前に自 立力向上の課題が優先すると考えています。	
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありました か。	17			1		見学時や利用開始の契約時に、丁寧に説明を 行っています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説 明がなされましたか。	17			1		利用開始や更新時に、丁寧に説明を行ってい ます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修 会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2		2		親子療育では、その都度家庭でも可能なこと をお伝えするなど、子育てしやすい環境づくり のお手伝いをしています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こども の健康や発達の状況について共通理解ができてい ると思いますか。	15	2	1			保護者とは、同行時にお話をさせていただいた り、HUGマイページ、電話、メール等で利用時 の状況や課題について随時連絡を取り合ってい ます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行 われていますか。	12	4		2		モニタリング時や送迎時に、保護者からのお悩 みや課題の相談に対しては、個人で判断せず、 チームでの方針のアドバイスを伝えること を原則としています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思 いますか。	16	1	1		・課題の際にお手本も見せず言葉だけで説明さ れても理解が難しい子供がいるということ を把握して欲しい。 ・やらない、出来ない、興味が無いと思うの ではなくアプローチの仕方を考えて欲しい。	ご指摘の事項は真摯に受け止め、個別対応の基 本を忠実に実行するように心がけて参ります。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	3	9		つばめ療育館では、0歳からの早期療育の普遍化を目指していますが、ほど遠い現実となっています。支援期間が短年の中で、保護者会等の結成は非現実的と考えています。	
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2		4	欠席連絡や、振替え対応は急をお願いしたにも関わらず適切に対応して下さい有り難いです。	保護者からの相談や申し入れに対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えすることを原則としています。モニタリング等の機会や、日常的な相談にも迅速にお応えするように心がけています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16				2		保護者には、口頭で伝わりにくい場合は、メールでのやり取りを行っています。ご利用児には、絵カード等を用いて視覚からの情報伝達を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1			2	アプリ内で活動内容を具体的に記入していただけるので、安心して通わせる事が出来ています	隔月の会報「おたより」や保護者のHUGマイページを活用し、近々の情報をお伝えしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				1		個人情報取扱規程に基づき、施設で保管している個人情報については厳重に管理し、内部研修会や朝のミーティング時にも取り扱いについて注意喚起を促しています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3	1	5	今まで訓練に参加したことがあったのか記憶に乏しい。	マニュアルは作成していますが、保護者に対しては、マニュアルを特に周知はしていません。所内に要点的な掲示やマニュアルを閲覧できるようにしています。義務となっている避難訓練の様子は、隔月に発行しているおたよりで随時紹介しています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	3		11		年2回、地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2			2		職員にはインシデント報告を徹底し、事故防止に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2			4		事故等（怪我等を含む。）が発生した際には、保護者へ速やかに連絡を取り、状況説明等を行っています。事故防止マニュアルに基づき、必要な時には関係機関へ報告を行っています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	4			緊張と戸惑いがありなかなか慣れませんが、根気強く通いたいです。	運動課題や個別課題では、個々の自立力に合わせた課題を提示し、成功事例の積み重ねを原則に安心感を与えられるよう心がけています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	6	1				まずは、嫌がらないでご利用いただくことからと考えています。ただし、発達支援プログラムには、自立力の向上を目的とする意味合いが込められているため、「楽しんで…」が目的ではないと捉えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	2	1				ほとんどのご家族から満足いただいていることは、有りがたい限りです。より満足いただくためには、ご利用児の「成功」の積み重ねが自立力向上に繋がると認識しています。「生活しやすいからだ」は、すべての基盤であると考えています。ご家族と情報共有をしながら、ご利用児の育ちに寄り添い支援して参ります。1時間の個別親子療育はご利用児の集中力が持続でき、同行される保護者の負担軽減にも配慮しています。本館、分館において様々なプログラムを実践して参りましたが、1時間の個別親子療育が最も改善効果が見込めると判断いたしました。